

むつ市議会だより

第6号

議案説明・質疑・討論	…… P 2
議案賛否一覧	…… P 5
一般質問	…… P 6
常任委員会活動報告	…… P10
お知らせ	…… P12

平成30年7月25日発行

ドローン空中散歩⑤ 牛の首農村公園付近(脇野沢地区)

第236回定例会

平成30年6月6日～6月28日

むつ市議会第236回定例会が、去る6月6日から6月28日までの23日間の会期で開かれました。今定例会では13議案（うち議員提出議案1件）・15報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・承認・報告されました。

主な議案の説明・質疑

【議案第40号】むつ市空家等の適正管理に関する条例
むつ市空家等対策計画の策定に伴い、市における空家等の適正な管理に関し必要な事項を定めるもの

○質疑 改正に至る経緯と主な改正点について。

▼答弁 国土交通省から台風や大雨等の緊急時における空き家等の応急措置について迅速に必要最小限度の応急措置をできるような条例で規定している自治体が公表され、当市においても台風や強風、豪雪等による同様の事例も多いため、必要最小限度の応急措置が可能となるよう条例を改正することとした。改正にあたり、空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき所要の条文整備の必要があったことから全部改正とした。主な改正点として、台風や強風、豪雪等の災害時に防災安全上、特に緊急を要する空き家について同法に基づく所定の手続きを経ることなく迅速に必要な最小限度の行為を行なえることを『緊急時の管理行為』として第7条に規定した。また、これま

でのむつ市独自の内容を当該特別措置法に基づいたものとして所要の条文整備を行ない必要な事項を定めることにより、市民の安全安心な暮らしの実現に寄与する。

○質疑 現状での特定空き家等の指定数と特定空き家の指定から解消に至った事例はあるのか。

▼答弁 空き家の件数は、平成30年5月末現在で1166件である。特定空き家の指定については、特定空き家等判定委員会を開催する必要があるが、現在のところ開催しておらず、特定空き家の指定については0件となっている。よって特定空き家等の解消に至った事例も現在のところありません。

○質疑 少子高齢化の進行により、今後空き家の増加が予想されるが、抜本的な対策はあるのか。

▼答弁 2040年までには空き家が約6000件に達するとの指標がある。市が現在取り組んでいるコンパクトシティのまちづくりの形成にも空き家対策は非常に重要だと認識している。特に都市計画区域、居住誘導区域、都市機能誘導区域の中での対策は急務である。空き家の発生を抑制するため、今年度から空き家の適正管理や空き家に関する行政サポート情報等を記載した冊子を作成しており、空き家等の所有者に対し助言指導などの文書への同封をしている。また今後開設予定のむつ市空き家・空き地バンクの活用や民間事業者と協定を締結し、空き家等の所有者への空き家の管理、賃貸、売却、撤去、といった情報の提供や、空き家になる前から、総合的な相談ができる窓口体制を確立する。この問題は関係団体との連携の強化が不可欠であると認識しているので、空き家等を未然に防ぐ対策も含めながら総合的に空き家対策に取り組んでいく。

【議案第41号】むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例
むつ市立関根中学校の移転に伴い、同中学校の位置を変更するもの



関根中学校新校舎

【議案第42号】むつ市乳幼児等医療費給付条例の一部を改正する条例
乳幼児等の保健及び出生育児環境の一層の向上を図るため、乳幼児等医療費の給付対象者の所得制限基準を引き上げるもの

○質疑 乳幼児医療費の給付対象者と受給資格者はそれぞれ何人となるのか。

▼答弁 給付対象者である未就学児童は平成30年3月31日で2824人、そのうち現行制度での受給資格者数は1401人で全体に占める割合は約49・6%で、新制度への移行により2683人で全体に占める割合は約95%に拡

大する見込みとなっている。

【議案第43号】むつ市脇野沢畜産流通加工施設及び農村活性化施設条例の一部を改正する条例

イノシシ飼育事業等の廃止に伴い、「むつ市脇野沢いのししの館」の名称を「むつ市わきのさわ鯛島の館」に変更するもの

【議案第44号】指定管理者の指定の変更について

指定管理者が管理する脇野沢瀬野牧野外9施設のうち、「むつ市脇野沢いのししの館」の名称を「むつ市わきのさわ鯛島の館」に変更するもの

【議案第45号】市道路線の認定について

都市計画道路事業により今後供用開始が見込まれる2路線を市道として認定するもの

【議案第46号】市道路線の変更について

県事業により整備された路線が市へ譲与されたことにより延伸する市道の終点を変更するもの

【議案第47号】人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

本年9月30日をもって任期が満了となる澤畑正敏氏を再任として推薦するもの

【議案第48号】平成30年度むつ市一般会計補正予算(4596万8千円の増額補正)

◎歳出の主なもの：乳幼児医療給付事業費、林業・木材産業成長産業化促進対策交付金

【議案第49号】平成30年度むつ市水道事業会計補正予算補正額 資本的支出484千円

【議案第50号】財産の取得について

むつ市消防団むつ消防団第15分団配備の消防ポンプ自動車を老朽化に伴い更新するもの

【議案第51号】財産の取得について

むつ市役所大畑庁舎配備の除雪グレーダを老朽化に伴い更新するもの

計算書(通次繰越額1億8799万円)

・事業名：田名部中学校エレベーター設置事業
関根中学校整備事業

【報告第7号】平成29年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書(繰越額6億4351万4千円)

・事業名：漁村再生交付金事業、漁港施設機能強化事業、橋梁長寿命化修繕事業(荒川橋架替事業)、横迎町中央2号線整備事業、中学校整備事業

【報告第8号】平成29年度むつ市水道事業会計継続費繰越計算書(繰越額5881万5251円)

・事業名：上水道整備事業、水道管路緊急改善事業

【報告第9号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成29年度むつ市一般会計補正予算)(5788万8千円の増額補正)

【報告第10号】専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)

昨年9月18日に発生した自動車損傷事故について、和解し損害賠償の額を定めたもの

【報告第11号】専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)

本年1月4日に発生した自動車事故について、和解し損害賠償の額を定めたもの

【報告第12号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成29年度むつ市一般会計補正予算)(4億7344万3千円の減額補正)

【報告第13号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税に係る基礎控除額の引上げ、平成30年度評価替えに伴う固定資産税の負担調整措置の延長等に関する改正をしたもの

【報告第14号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)

地域再生法第17条の6の地方公共団体を定める省令の一部改正に伴い、固定資産税の不均一課税の適用期限の延長等をしたもの

【報告第15号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険に係る課税限度額の引上げ、低所得者に対する軽減措置の拡充等をしたもの

【報告第16号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市指定地域密着型サービスの事業及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例)

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、所要の条文整備をしたもの

○質疑 改正による事業者や利用者への影響について。

▼答弁 地域密着型サービスの事業を行なうことができる事業者の指定要件について、改正前は法人のみであったが、医療ニーズの高い要介護者の支援のため、介護と介護サービスを一体的に提供する看護小規模多機能型居宅介護サービスに限り、病床を有する診療所を開設しているものについても、当該サービスに関する指定を受けることができることとなり、事業者が地域密着型サービスに参入し、医療ニーズの高い利用者へのサービスの提供が可能となった。なお、むつ市においては該

当する施設およびサービスは現在ないことから、介護保険サービスを利用される方および事業者への影響は現時点ではない。

【報告第17号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市指定介護予防支援事業者の指定並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例）

指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、所要の条文整備をしたもの

【報告第18号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例）
介護保険法の一部改正に伴い、都道府県に代わり市町村が定めることとされた指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等について定めたもの

【報告第19号】専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）

本年3月11日に発生した自動車損傷事故について、和解し損害賠償の額を定めたもの

【報告第20号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（平成30年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算）（4716万9000円の増額補正）

【議員提出議案第2号】リサイクル燃料貯蔵事業における事業環境の安定確保及び施設の操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書（下段に全文を掲載）

リサイクル燃料貯蔵事業における事業環境の安定確保及び施設の操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から早7年、福島第一原子力発電所の事故により国民の原子力に対する信頼は失墜し、原子力政策の円滑な推進は困難な状況に至っている。また、原子力発電に代わり火力発電所などによる電力供給が続いている昨今、化石燃料の輸入増加などに伴う電力料金の高騰や炭酸ガス排出量増加による温暖化現象にも深刻な影響が懸念されている。

エネルギーは国民の安定した生活や経済活動を支える基盤であり、原子力発電は其中でも大きな役割を担ってきたところであるが、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査は遅々として進展がなく、運転差し止め訴訟などの影響も併せ、現在再稼働となった原子力発電設備は僅か9基にとどまり、立地地域の経済事情のみならず国家の経済成長にも大きな足かせとなっている。また、原子力政策の要である核燃料サイクル事業も同様に、再処理工場などの新規制基準適合性審査における施設の健全性確保の観点から、度重なる工期延長を余儀なくされ、リサイクル燃料貯蔵施設の操業開始時期の目途が立たない状況から不透明感が増大し、地域社会に不安と閉塞感とをもたらしている。しかるに、この異常事態は長引く一方であり、誰も責任を取ろうとしない有様である。

このような状況に鑑み、本市ではリサイクル燃料貯蔵事業を最大限活用した成長戦略の再構築を目指し、課題解消を図るため、迅速な対応が求められているところであり、政府及び関係行政機関などに対し、下記事項の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. エネルギー基本計画の改定に伴い、核燃料サイクル事業の確固たる推進を図ることは、国力を左右するエネルギーの安定供給・経済性・環境適合性を考慮した政策上の観点からも最重要課題であり、より具体的な達成目標を提示した上でブレのない核燃料サイクル政策を堅持すること。
2. 核燃料サイクル事業の安定的な運用を可能とするために必要不可欠なリサイクル燃料貯蔵施設について、中間貯蔵された使用済み燃料の処理の方針を早期に明確化すること。
3. 原子力規制委員会による効率的な審査の促進を図るため、運用規程等の見直しを含め、スピード感を持ち必要な措置を講ずること。
4. リサイクル燃料貯蔵事業における事業環境の安定確保の観点から、政府並びに関係行政機関等が一体となった取組みにより、事業に対する積極的な支援を図ること。

第 236 回定例会審議結果・賛否一覧表

議案	議案の名称	議決結果	改革改新		公明・友友会			自民クラブ			市誠クラブ			創世むつ			会派に属しない議員											
			斉藤孝昭	富岡幸夫	村中徹也	菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中村正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田勝弘	菊池広志	東健而	川下八十美	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	横垣成年	目時睦男
40	むつ市空家等の適正管理に関する条例(全部改正)	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	むつ市乳幼児等医療費給付条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	むつ市脇野沢畜産流通加工施設及び農村活性化施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	指定管理者の指定の変更について(むつ市脇野沢いのししの船の名称を変更するためのもの)	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	市道路線の認定について	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	市道路線の変更について	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成 30 年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成 30 年度むつ市水道事業会計補正予算	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	財産の取得について (消防ポンプ自動車)	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	財産の取得について (除雪グレーダ)	可決	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案	議員提出議案の名称	結果	改革改新	公明・友友会	自民クラブ	市誠クラブ	創世むつ	会派に属しない議員																						
2	リサイクル燃料貯蔵事業における事業環境の安定確保及び施設の操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●

報告	報告の名称	議決結果	改革改新		公明・友友会			自民クラブ			市誠クラブ			創世むつ			会派に属しない議員																	
			斉藤孝昭	富岡幸夫	村中徹也	菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中村正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田勝弘	菊池広志	東健而	川下八十美	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	横垣成年	目時睦男						
9	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成 29 年度むつ市一般会計補正予算)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
12	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成 29 年度むつ市一般会計補正予算)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
13	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
14	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市地方力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
15	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
16	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市指定地域密着型サービスの事業及び指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
17	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市指定介護予防支援事業者の指定並びに指定介護予防等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
18	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成 30 年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算)	承認	○	○	欠	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6	平成 29 年度むつ市一般会計継続費繰越計算書
7	平成 29 年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書
8	平成 29 年度むつ市水道事業会計継続費繰越計算書
10	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
11	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
19	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)

報告のみ

※報告のみの案件は、市当局から報告を受けるもので賛否を明らかにするものではありません。

※議決日は議会最終日の 6 月 28 日(ただし、議案第 47 号、48 号および報告第 9 号、12 号は 6 月 20 日に議決)
 ※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、『退』は退席、『除』は除斥、議長(白井二郎)は採決に加わらない

議案賛否一覧

本定例会で審議された議案の議決結果・賛否の一覧をご紹介します。

ここが聞きたい!

一般質問

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。

各種の行政課題を取り上げて3日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。

一般質問

一般質問の内容を一部要約してご紹介します。



無会派
原田敏匡

問 地元企業の育成強化について。
答 昨年策定した「むつ市中小企業振興基本条例」に基づき、市の責務である中小企業の実態把握や受注機会確保等に努めると共に、

これまでの仕事を作る政策から一歩踏み出して、これに加えて地元への定着と戻ってくる政策へ転換する必要があると考え、新たな取り組みを立ち上げたところである。

問 子育て支援について。

答 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを2020年4月の開設を目指し、段階的に準備を進めている。

問 コミュニティ・スクール制度の導入について。

答 関根地区において本年4月より関根小学校・関根中学校をモデル校として学校運営協議会を導入しスタートした。次年度以降、導入を予定している学校でのPTAや学校評議員などへの制度の説明を予定しており、来年度には希望校での導入を、2020年度には市内全小中学校での導入を目指して取り組んでいる。



改革改新
村中徹也

問 リサイクル燃料貯蔵株式会社と関西電力株式会社の報道について

「侮辱」「背任」「屈辱」「卑劣」等をむつ市が受ける謂われはない、真相究明まで当該関係者との友好を考え直せ

誰一人「知らない」で最終調整(報道)とは「市長」「市民」および「関根地区」を愚弄、蔑ろにする行為だ
信憑性や真実性が高い本件だが、プロセスを無視した各社トップや関係者を追求して猛省と謝罪を求めよ

市長は今後「静観」「抗議」「調査」「歓迎」「拒否」等々のいずれでコミットするのか

問 無投票選挙について

・無投票選挙に対する「一般的理念」と自身の選挙が無投票になった「所感」とに整合性を問えますか

※前記一般質問の通告がありました。が、6月14日に辞退届が提出され、許可されました。よって、一般質問は行なっておりません。



市誠クラブ
石田勝弘

問 地域医療改革としてのへりによる医師の通勤制度について。

答 むつ病院では命に直結する脳神経外科や心臓血管外科など9診療科で常勤医が不在で、9科を含め合計20名の常勤医が不足しており、他の医療機関からの診療支援に頼らざるを得ない状況だ。へりコプターによる広域的な医師の診療ローテーションを整備する事で医師不足や各診療科の待ち時間の問題を解消する特効薬になるものと期待できる。

問 燧岳地熱資源開発調査事業について。

答 本年度は断層確認調査や既存の温泉への影響を把握するための温泉モニタリングなどを行なう。また、経済産業省の地熱発電に対する理解促進事業費補助金を活用し、市民や地元事業者、商工団体等を対象としたむつ市燧岳周辺地熱開発研究会の開催のほか、燧岳周辺住民を対象とした燧岳地熱座談会の開催や先進地視察等を予定している。実現に向けて一歩一歩着実にこの事業を進めていく。

※このほか、市内の農家が生産する「ほっかりん」の弁当などを青森市内の業者がベトナムで展開する店舗で販売する問題や春のサクラ花を満開にするプロジェクトについての質問がありました。



無会派
工藤祥子

問 全国的に問題となっている「高すぎる保険税」は、都道府県化で解消されるのか。

答 この目的は、財政基盤拡大で安定化を図るという事で、保険税を安くするかどうかではない。

問 国保制度の加入者は、低所得者・病院を受診する事の多い高齢者等。その上国からの公費が減らされて来たという構造的な問題がある。改善策として全国知事会は、国からの財政支援を要望している。市長も同じ認識か。

答 払っていない方が2割いる事が問題。むつ市の財政にもマイナス。滞納なく払っていただくよう、この機会にお願いする。知事会の提案については市議会ですり上げるべき事ではない。

問 今年10月からの生活保護制度の改正(減額幅最大5%)による他の社会保障制度への影響は。

答 改正に伴い、保育の措置の徴収金、介護保険料等の負担額減免等、47の制度が影響を受けるとしている。国は出来る限り影響を及ぼさないよう対応するとしている。

※このほか「介護・在宅医療について」の質問がありました。



改革改新
斉藤孝昭

問 ガラス張り政治へと結びつく住民参加型行政について。

答 ガラス張り政治、いわゆる政策決定プロセスの透明化については、市長という代表機関のみならず、市民も求められ、多角的な利益を反映させ審議過程で争点を明確にする役割を担う議会もまた、積極的な住民参加や協働を推進すべき主体である。又、コミュニティセンター協野沢温泉事業は、地域の課題解決を目的に、地域の皆さまが主体となって参画し、民主的プロセスが極めて明確に体现された一例であり、今後も様々な形で広聴機能の充実と市民協働参画の促進を図る。

※このほか「大湊海自カレーを更に普及させるためのアイデアについて」「大湊Sora空一普及戦略はあるのか」「中学校の部活動と教員の長時間労働の関係をどのように認識しているのか」についての質問がありました。



公明・政友会
鎌田ちよ子

問 循環型社会の街づくりについて。

答 東日本大震災の被災経験から自然エネルギーを含めた再生可能エネルギーを取り入れ環境省の「再生可能エネルギー等導入地方公共団体支援基金」を活用。太陽光発電設備導入や風力と太陽光を併用のハイブリッド街路灯を市内に24基設置している。



第二田名部小学校に設置されたハイブリッド街路灯
第三田名部小学校に設置されたハイブリッド街路灯

問 高齢者の就労支援について。

答 就業している高齢者は、地元企業を支える貴重な人材として地域経済に大きく貢献しており、高齢者の雇用の拡大についてサポートを強化していく必要がある。今後とも皆様の就労を支援し、いつまでも生きがいをもって暮らせる生涯現役のまちを実現したい。

※このほか「子育て支援について」「公文書管理について」の質問がありました。



市誠クラブ
東 健而

問 次期学習指導要領が2020年から変わる。英語教育が小学校の3年生からとなり、話す、聞くを中心とした指導が要求される。また、プログラミング教育の必修化が導入され、教員の過重負担が心配されるが、義務教育の方向性について問う。

答 英語教育が小学校3年生から、5・6年生では教科化となり、プログラミング教育についても、学校が円滑に対応できるように、教員の負担軽減を念頭に支援していきたい。

問 保護者への事前通知と教育の将来について。

答 保護者へはすでに説明済みで、教育の将来については、今後の国の動向を見定めてしっかりと対応していきたい。

※このほか「湖鏡大橋の危険防止対策について」「川内川渓谷の老朽化対策について」「観光地の害獣による危険回避対策について」等の質問がありました。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 市長が掲げる「マニフェスト2018」について、改めて問う、真意と市長の決意は。

答 本来は選挙戦を通じて訴えるべき、次の4年に向けて掲げた公約を、市民のみなさまに十分にご理解いただける時間が不足していたと考えている。公約は7つの重点政策と35の施策を打ち出している。

一つ目の柱：経済政策「雇用の創出と成長産業の育成による地域経済の再生」

二つ目の柱：医療政策「市民ニーズに応える地域医療機能の確保と生涯現役の実現」

三つ目の柱：まちづくり政策「命と暮らしを守り災害に強い！人にやさしいまちづくりの推進」

四つ目の柱：子ども・子育て政策「家族と子どもたちの笑顔がややく子育て支援」

五つ目の柱：教育政策「基礎学力の向上と共生社会実現！教育の抜本改革に着手」

六つ目の柱：健康づくり政策「健康づくり市民運動、住み慣れた地域で健康長寿の実現」

七つ目の柱：市民協働政策「市民のみなさまとの協働による新たな市政経営モデルへの挑戦」



自民クラブ
濱田栄子

問 ジオパーク推進について。水の循環に伴う生命の循環を、体験を通し学習できるプログラムを作成し、環境を学べる未来都市として世界ジオパークを目指すべきと思うが考えを問う。

答 昨年の7月国立研究開発法人海洋研究開発機構と「下北ジオパークに関する包括連携協定を締結した。関係団体により開催される「むつ海洋環境科学シンポジウム」等において、今後もご協力頂き、更なる活動の充実に努めていく。

問 老朽化した大畑町さけ・ますふ化場建設の進捗状況について。

答 現在のふ化場は、大畑町漁協が昭和50年に整備し老朽化している。むつ市総合経営計画における農林水産業の振興に基づき関係機関と緊密な連携をとり、大畑町漁協へ支援していく。

問 製造業施策、水産加工の支援について。

答 水産加工業が地域経済を下支えしている重要性は十分認識している。金融支援制度、新商品開発に係る制度等で支援する。

問 農業施策について。

答 農業次世代人材投資事業を活用し、将来の担い手の確保、育成に取り組んでいる。



無会派
横垣成年

問 「バスが来なくなった。何とかして」という市民の声。交通弱者対策としてむつ市が運営主体となつてコミュニティバスの運行を実施すべき。金沢市の隣の野々市市では、ワンコイン、100円という低料金での循環バス、コミュニティバスを運行している。例えば、市役所を起点として国道338号バイパスを北へ向かい、柳町ユニバースを通り国道279号バイパスを右折、苦生小学校の横を通り県道赤川下北停車場線を右折し、下北駅に向かい、中央交差点を左折、大湊駅を通り国道338号バイパスを右折、運動公園を通り終点の市役所というルートを循環するコミュニティバスを運行すべき。

答 コミュニティバスは、路線、区域、運行時刻等路線バスとの整合性、交通事業者との協議、新たな財政負担について十分な検討が必要。コミュニティバスの導入・運行については、これらのことを踏まえて総合的に研究していく。

※このほか「納期8期から10期にすべきことについて」「使用済核燃料中間貯蔵施設について」等の質問がありました。



公明・政友会
菊池光弘

問 桜満開プロジェクトについての「ソメイヨシノ」より遅咲きの桜を植える考えはないか。

答 今後、先進的な公園の情報も参考にしながら、植栽計画の見直し等研究して参りたい。

問 夏の教室の温度基準について。

答 文部科学省では「学校環境衛生基準」が5年ぶりに改正され教室等の温度は10度以上、30度以下から、改正後17度以上から28度以下と見直されました。今後は、むつ市教育大綱の教育環境の整備について研究を重ねて参ります。

問 高齢者の移動手段で、タクシィ助成券を交付すべきについて。

答 現在、下北地域5市町村で組織しています下北地域公共交通総合連携協議会では、平成26年4月から、むつ市または下北郡内に住所を有し、70才以上で運転免許証を返納して運転経歴証明書を取得された方を対象に5千円を上限に路線バスの切符または定期券の購入費用の助成を行なっております。市と致しまして、「むつ市総合経営計画」の施策としておりますとおり、公共交通の維持確保に向けて幅広い視野で検討を進めて参りたいと考えております。

※このほか「花咲か大作戦」「イルカウォッチング」についての質問がありました。



創生むつ
佐賀英生

問 消防団員数の推移と確保および優遇措置について。

答 消防団員数の推移については、平成25年4月現在1038人で、平成30年4月現在では995人となっており、定員1255人に対し、平成30年4月現在79.3%となっている。団員確保については、ポスターやリーフレットを配布および各種イベント等において積極的に確保に努めている。一方、消防・防災に係る経費は約18億1833万円、住民一人当たり3万2200円となっており、全国の類似団体76市の中で2番目に大きい経済負担となっている。今後、1年以内に、消防団、市民の意見を聞きながら、人口減少や少子高齢化の進行する中、地域防災力を維持し、充実・強化していくか、組織等の見直しも含め、消防体制の基本構想を策定したい。

問 まさかり高校医学部進学・特進コースについて。

答 まさかり高校医学部進学・特進コースについては、弘前大学医学部をターゲットにしたプログラムを考えており、特進コースは生徒のモチベーションを高めるために、東京大学見学ツアー等を予定している。



自民クラブ
中村正志

問 むつ市の小学校スポーツ活動の現況について。

答 現在、部活動として行なっているのは、野球が4校、卓球が4校、ミニバスが3校、陸上が1校。スポーツ少年団へ移行しているのは、野球とミニバスが4団体、バレーと卓球が2団体、陸上と剣道が1団体。スポーツ少年団に既に移行している学校は4校、現在検討中は6校、児童数の減少により廃止した学校は3校ある。

問 スポーツ少年団への全面移行に向けた取り組み状況について。

答 2020年4月を目処とするスポーツ少年団への移行を支える運営体制作り、学校施設の使用などについて検討するとともに、保護者と学校、関係団体などの地域の方々が一緒になって小学校スポーツ活動の望ましい環境作りに努めていく。

※このほか「むつ市の働き方改革について」「テレワークについて」「AIの活用について」の質問がありました。

全国市議会議長会永年表彰



佐々木 肇 議員

5月30日に東京国際フォーラム（東京都）で開催された、全国市議会議長会第94回定期総会において、佐々木肇議員が議員在職35年以上による特別表彰を、また東健而議員、佐賀英生議員、岡崎健吾議員が議員在職10年以上の一般表彰を受賞し、今定例会開会日の6月6日の本会議冒頭、議長から表彰状の伝達が行なわれました。



東 健 而 議員



佐 賀 英 生 議員



岡 崎 健 吾 議員

【総務教育常任委員会】

○6月20日付託議案審査

付託された3議案・2報告について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全云一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・報告第13号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(地方税法の一部改正に伴い、個人市民税に係る基礎控除額の引上げ、平成30年度評価替えに伴う固定資産税の負担調整措置の延長等に関する改正をしたもの)
問 個人市民税について市民への影響は。

答 給与所得及び公的年金等に係る所得控除が引き下げられ、全所得者に適用される基礎控除額が引き上げられる。

(所管事務調査)

(1)むつ市立関根中学校新校舎の概要について

【産業建設常任委員会】

○6月20日付託議案審査

付託された6議案について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第45号 市道路線の認定について(都市計画道路事業により今後供用開

始が見込まれる路線等について、2路線を市道として認定するためのもの)

問 新たに交差点となる箇所の信号や道路標識、横断歩道等の設置申請について。

答 信号の設置は全線開通後、青森県公安委員会と調整を図ることとなるが、横断歩道や道路標識、区画線などは全線開通前でも供用開始となる区間については、設置していく。

【民生福祉常任委員会】

○6月20日付託議案審査

付託された1議案・5報告について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全云一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・報告第20号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成30年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算)

問 以前の赤字解消の予測と現状について。

答 以前の累積赤字額は最大で約7億6000万円であったが、現在はこれが約4700万円まで減っており、当初の予定より早く解消しつつある。

(所管事務調査)

(1)食育について

総務教育常任委員会行政視察

平成30年5月15日～18日

沖縄県浦添市

ファシリティマネジメント施策に関する

民間提案制度事業について

浦添市では公共ファシリティマネジメント(以下:公共FM)の一環として、市有施設の整備や維持管理、その他の公共FMに関する事業においてPPP(公民連携)を取り入れることで、民間の創意工夫を最大限に活用し、市民サービスの向上、地域経済の活性化および財政負担の軽減等を図っている。

この一環である民間提案事業では、市庁舎敷地内でのコンビニ設置と、これに併設の子育て拠点の整備、庁舎の修繕や警備等も含めた統括管理委託などの事業化を進めている。

沖縄県名護市

キャリア教育推進事業について

名護市では児童生徒の勤労観・職業観の醸成、地域の雇用問題の解決を図ることを目的として、キャリア教育を充実するための取り組みを行なっている。

キャリア教育コーディネーターを配置し、働く大人を観察する「ジョブシャドウイング」、実際に仕事を体験する「職場体験」を小中学校で行なっている。



名護市での視察の様子

《ジョブシャドウイング》

主に小学生が、仕事をする大人を間近で観察し、仕事に取り組む姿勢をみて「働くとは」「仕事とは」など、将来の夢や進路について考えるきっかけとなる場を目指している。

《職場体験》

主に中学生が、仕事を実際に体験することで、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいを学び、働くことの意義を理解し、主体的に進路を選択・決定する意志、意欲などを培う。

産業建設常任委員会行政視察

平成30年5月22日～25日

民生福祉常任委員会行政視察

平成30年4月23日～26日

広島県呉市

呉海自カレーを活用した
観光振興について

呉海自カレーは、各地で開かれているカレーイベントの人気を受け、2015年4月に呉海上自衛隊の全面協力によりスタートした。

この事業は、観光協会、市、飲食組合及び大和ミュージアム等で構成する「大和のふるさと呉」グルメキャンペーン実行委員会が実施主体となつて行なわれており、中心市街地や周辺地域への回遊性の向上を目的としている。

市は負担金855万円を実行委員会に支払っており、そのうちの810万円は地方創生交付金を充てている。

実行委員会の中に「海自カレー事業部会」を設置しており、市内イベントはもろろん、県内外へのイベントには市が直接支援することなく、事業部会の中から店舗を派遣している。海上自衛隊と相談しながら毎年度追加店舗を募集し、審査の結果店舗の入れ替えもある。

呉海自カレーの値段は各店舗に任せており、付け合わせのサラダ等で値段を調整し、他のメニューとのバランスをとって店の売り上げが落ちないよう工夫している。



呉海自カレー
(護衛艦さみだれカレー)

大阪府東大阪市

中小企業振興条例について

東大阪市は中小企業の集積地であり、全国主要都市別事業所数が第5位、全国主要都市別事業所密度が第1位となつている。そのため、全国でも有数の住宅と工場の軋轢が多い住工混在のまちといわれている。

市内の事業所数は6000社以上もあるが、一部上場企業は3社しかなく、従業員20人未満の事業所が9割となつており、事業所間でネットワークが強い中小零細企業が多い中で何でも作れるまちとして様々な注文がある。

中小企業振興条例は小規模事業者を中心とした中小企業が東大阪市の存立基盤となつていと謳っており、「住工共生のまちづくり条例」も同時に制定して東大阪市の理念として様々な取り組みを行なっている。

兵庫県洲本市
すもと「御食国 減る See」
食育応援店・協力機関について

洲本市では生活習慣病の発症と重症化予防のため、食に注目し、子どもから高齢者まで健康的な食習慣を身につけるための食に関する情報提供を行なう飲食店を、すもと「御食国 減る See」食育応援店・協力機関として認定している。

1食約500キロカロリーを目安に、自分の食べている量を意識することとで健康的な食習慣を身につけることや、食材の栄養成分やエネルギーを示して提供することで、食べている量やバランスを意識する機会を増やし、市民の健康づくりをサポートする取り組みを行なっている。

神奈川県平塚市

・子育て支援の取り組みについて
・子育て世代包括支援センター
「ひらつかネウボラームはぐくみ」について

妊娠期から出産、子育て期までの切れ目のない支援を目的に平成29年4月に開設された「ひらつかネウボラームはぐくみ」には以下の特徴がある。まずは「専任性」。ネウボラは事務職



洲本市での視察の様子

以外に、保健師や保育士、助産師などのエキスパートを配置することで、来訪者との短い時間のやり取りでも的確に不安や悩みを解決できる。

次に「専用の部屋」を設けた。会議室を明るく落ち着いた雰囲気模様替えすることで、プライバシーが守られた空間を整えている。

また、妊婦全員と個別面談をする『全数面談』を行なうことにより、妊娠出産に関する指導や情報提供が確実に行なえるようになった。

『オープンが平日のみ』にすることで病院や役所の他部署との連携を迅速かつ緊密にすることができるとのこと。

議会を傍聴してみませんか



こちらが傍聴席です。
(30席)

本会議は誰でも傍聴することができます。
市民の代表である市議会議員と市当局との議論のやり取りを、直接見たり聞いたりすることができますので、傍聴は議会活動や市政方針を知るうえで最も身近な方法といえます。
傍聴される方は、本会議当日に議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。
交付を受けた方は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができます。
傍聴を終え、退場する際には傍聴券を返却してください。
傍聴席は30席あり先着順です。

第237回定例会の予定

- 8月28日(火) 本会議(開会)・常任委員会

- 9月5日(水) 本会議(一般質問)

- 6日(木) 本会議(一般質問)

- 7日(金) 本会議(一般質問)

- 10日(月) 本会議(一般質問)

- 11日(火) 本会議(議案質疑ほか)
決算審査特別委員会
常任委員会

- 12日(水) 常任委員会
決算審査特別委員会

- 13日(木) 決算審査特別委員会

- 14日(金) 決算審査特別委員会

- 20日(木) 本会議(閉会)

※ 8/23の議会運営委員会にて決定いたします。

議会のうごき

4月	6月
10日 会派代表者会議	1日 議会運営委員会
11日 広報広聴委員会	5日 議会運営委員会
18日 防衛省全国情報施設協議会役員会	6日 議会運営委員会
19~20日 東北市議会議長会定期総会	第236回定例会開会
23~26日 民生福祉常任委員会行政視察	7日 議会運営委員会
25日 議会だより発行	8日 会派代表者会議
	14日 議会運営委員会 本会議(一般質問)
5月	15日 本会議(一般質問)
9日 広報広聴委員会	18日 本会議(一般質問)
15日 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会 青森県市議会議長会第1回定期総会	20日 本会議(議案質疑) 常任委員会
15~18日 総務教育常任委員会行政視察	25日 議会運営委員会
21日 会派代表者会議	26日 広報広聴委員会
22~25日 産業建設常任委員会行政視察	28日 議会運営委員会
30日 全国市議会議長会第94回定期総会	第236回定例会閉会

むつ市議会はホームページやフェイスブックで積極的に情報発信を行うことでより身近で開かれた議会を目指します

【ホームページ】



<http://www.city.mutsu.lg.jp/index.cfm/40.html>

【facebook】



<https://www.facebook.com/mutsushigikai/>



いいね!

編集後記

先般6月下旬、東京都市ヶ谷の某ホテルにおいて、地元の先輩方を含む県出身者の集まりに行ってきました。昨年も出席したのですが、今年度は30周年と云う事で、区切りの年度だったので人数も多く、盛大に行なわれました。別の部屋でも他県の県人会的な集まりが行なわれており、お国訛りが飛び交っておりました。

6月中に行なわれる事が大半と云う事で全国から集まっているとの事。先達の方々が、当時の集団就職時に来て早60年と云う事でした。

今年度は60年に一度の戌の年で、大成を成すか滅亡に至るか云われている干支の年でもあり、時代の節目があると云われております。興味のある方は60年前120年前を調べてみると面白いと思われまます。

つくづく東京と云う場所は、地方の人たちの力で活力が生まれて来たのだなあと思わされた一日でもありました。

笑 多 異 夢